

直流電源装置メンテナンスの向上について

平成 30 年度西会津無線中継所外直流電源設備更新工事

株式会社 応用電業社

現場代理人 長澤 良一

1. はじめに

本工事は直流電源装置の老朽化により直流電源装置更新工事を実施しました。限られた室内空間を有効に利用できる様に検討し、メンテナンス作業の向上及び取組結果について報告します。

2. 工事概要

工事場所 : 福島県耶麻郡西会津町新郷大字富士字沼頭地先 他

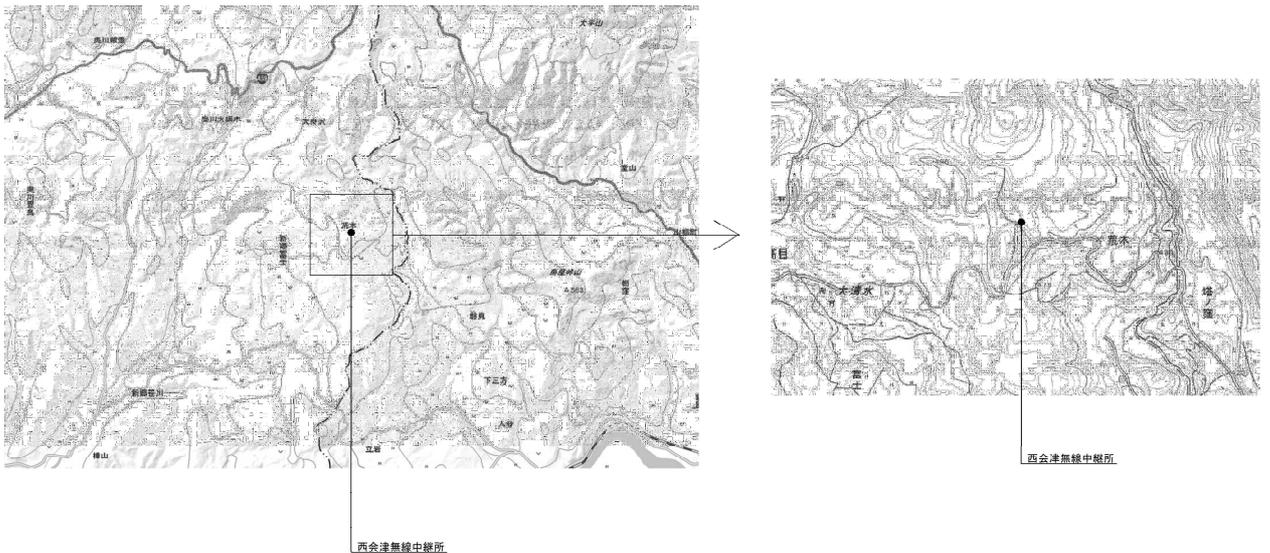
工 期 : 平成 30 年 7 月 3 日 から

平成 31 年 2 月 8 日 まで

(221 日間)

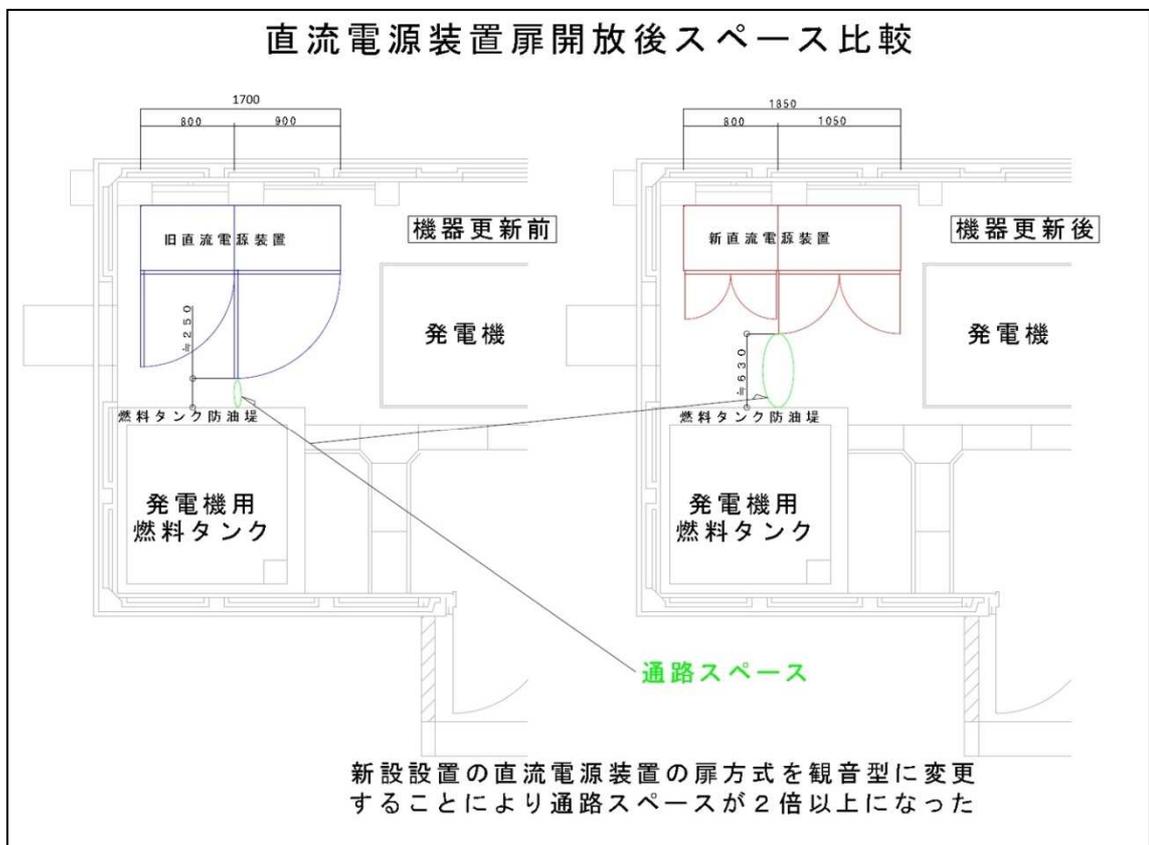
工事内容 : 西会津無線中継所の直流電源装置 (蓄電池盤含む) KSR-48-50N の更新と、阿賀川河川事務所 北会津出張所の直流電源装置 (蓄電池盤含む) KSR-48-20N の更新工事。

位置図



3. メンテナンス作業の向上について

阿賀川河川事務所北会津出張所の直流電源装置更新に関してはスペースに限りがあるため、更新後のメンテナンススペースの確保が必要と考えた。更新前の旧直流電源装置は片側開き扉が接続で2面あり（整流器盤、蓄電池盤）、片側の扉を開けると燃料タンク防油堤の距離は約250ミリと狭く扉を開いていると通行が困難であり、2面同時に確認する事も困難であった。機器更新にあたり、将来のメンテナンス作業時を考慮し整流器盤、蓄電池盤の扉を観音開きで製作を行った。



その結果、新設直流電源装置と防油堤の距離は約630ミリとなり、スペースを十分に確保でき通路スペースの確保、整流器盤、蓄電池盤を近くで同時に確認する事が可能になりメンテナンスの向上に繋がった。

《 旧直流電源装置 》

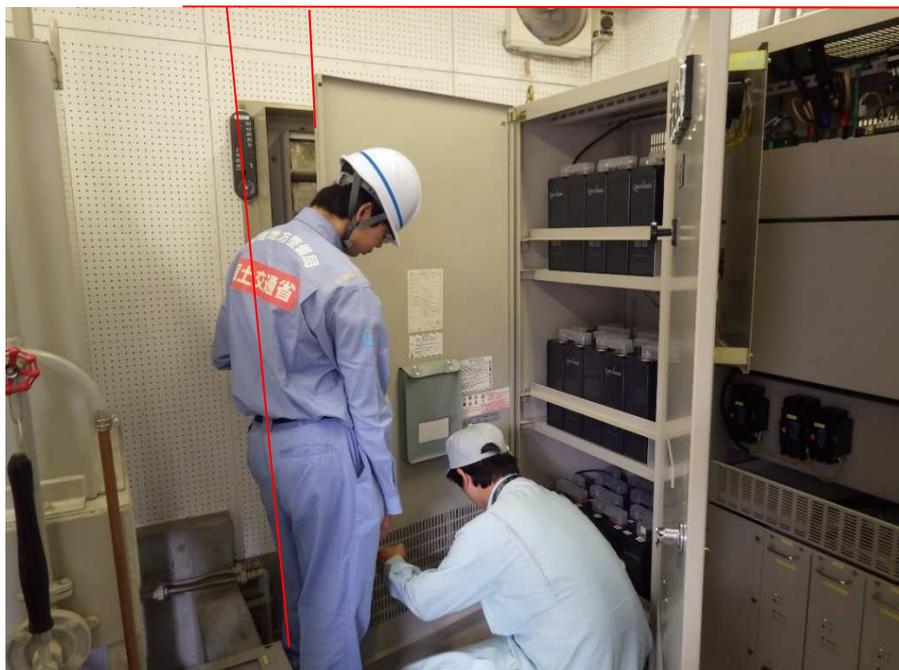


《 新直流電源装置 》



《 旧直流電源装置 》

『旧』扉と防油堤の間隔最小値で≒約250ミリ（整流器盤扉）



《 新直流電源装置 》

『新』扉と防油堤の間隔最小値で≒630ミリ（整流器盤扉）



4. まとめ

更新時直流電源装置の扉を観音扉にすることで扉を開いても圧迫感も無く、スペースの有効利用ができました。

阿賀野川河川事務所の監督職員、皆様のご指導・ご協力をいただき、無事に工事を終えることができました、改めて皆様方に感謝申し上げます。